日本臨床発達心理士会千葉支部　2019年度第2回資格更新研修会のお知らせ

期日　2019年11月17日(日)

会場　千葉大学西千葉キャンパス(千葉市稲毛区弥生町1-33)　　教育学部1号館　１階大会議室

　　　　　JR西千葉駅または京成みどり台駅より徒歩　(車の乗り入れはできません)

午前の部　　9時30分～12時30分　(9時受付開始)

講演　「高等学校における『通級による指導』について」

講師　清水　範子 先生　（千葉市立稲毛高等学校）

概要

　2016年の学校教育法施行規則の一部改正により、2018年4月から高等学校においても「通級による指導」ができることとなりました。「通級による指導」とは大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部、特別な指導を特別な場(通級指導教室)で受けるもので、小中学校ではすでに行われています。千葉県の高等学校では2018年度から実施されています。

　本研修会は、千葉市立稲毛高等学校で「通級による指導」を担当されている清水範子先生をお招きし、高等学校における「通級による指導」の概要、現状と今後、具体的な支援の事例などについてお話しいただきます。

　本研修会をとおして、高等学校における特別な支援の現状と今後について、参加者の皆さまとともに考える機会としたいと思います。

午後の部　　13時30分～16時30分　(13時受付開始)

講演　「課題を抱える妊婦・母親たちの理解と妊娠期からの継続的支援の必要性―10代母親の調査研究から―」

講師　上田　美香　先生　(東洋大学ほか、社会福祉士、保育士)

概要

子どもの虐待、ひとり親の低年齢化と増加にともない10代の母親の妊娠～子育ての問題が顕在化しています。上田先生らの研究グループは、2008年より10代母親に対する妊娠期から子育て期まで継続した調査に取り組み、子の父や原家族の支援力の弱さ、母親の自己肯定感の低さ、厳しい周囲の批判的価値による地域からの孤立等の実態を把握しています。また、母親たちが求める支援を丁寧に聴きとりながら、支援を受けるための言語化や、グループ支援の方法について当事者の母親たちと一緒に考えてこられました。

本研修では、課題を抱える妊婦や母親たちの理解と、妊娠期からの継続的な支援についての、講師の先生の実践的な研究成果をうかがいながら、虐待を未然に防ぐ予防的な援助のあり方について考えていきたいと思います。

〇参加方法

　有資格者向けの研修会で定員120名、他支部からの参加も可。事前参加申し込みが必要です。

申し込み受付開始

　　千葉支部会員－2019年9月1日より。　　他支部会員－2019年10月1日より。

氏名、支部名、登録番号と、午前のみ、午後のみ、午前午後、を明記の上、jacdpchiba＊yahoo.co.jp

宛てにメールで送信してください。

参加の可否について返信します。なお、定員になり次第締め切りといたします。

〇参加費　午前・午後各1,000円(当日受付で集金)。　　〇研修ポイント　午前・午後各1ポイント。

○注意事項

　当日の受付はIDカードによりオンラインで行います。IDカードを必ず持参してください。

　★2019年度の会費が未納の場合は、資格更新ポイントは取得できません。

　　会費の納入状況について念のため事前にご確認ください。確認は会員情報管理システムSOLTIにて行えます。

　研修会の直前に会費を納入された場合は、その情報がSOLTIにまだ反映されていないことがありますので、納

　入したことが確認できる振込の明細控え等を当日持参してください。